

6 学 校 教 育

「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成」 ～科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育の推進～

本市は、長年農業と先端技術工業を産業の基盤として、いわゆる農・工一体型の地域社会として様々な叡智を編み出し駆使しながら発展してきている。また、自然・科学・文化・芸術等の分野に多くの優れた人材を輩出しており、学校教育においても、地域の教育資源や人材を積極的に活用し、感動ある学び・意欲的な学びの創造等を核に各種施策を進めてきている。

各校ではふるさと教育を基盤に各地区の歴史・伝統を踏まえ、コミュニティ・スクールの推進等、特色ある教育課程を編成している。児童生徒一人一人は、具体的な目標実現を目指して主体的に学習に取り組んでいる。その成果として、粘り強く科学的に対象を見つめ、思考したり表現したりする活動を通して、科学分野や文芸等で全国的にも優れた賞を受賞している。

これらのことを踏まえ、今後も科学する心と力をはぐくむ教育を一層進めるとともに、科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育に努め、地域の期待に応えていきたい。

1 人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成

本市の目指す教育の将来像は、市の総合発展計画より「共生・躍動・自立」という視点で進めてきている。特に、各地域の特色を生かした体験活動や道徳及び特別活動の指導を通して、人や自然を敬い感謝する心をはぐくまれるとともに、先人の業績や地域の文化に触れるふるさと教育を通して、学習に広がりや深みが増してきている。

また、学習指導要領で重視される言語活動の充実や、活用する力を伸ばす調べ学習やふるさと教育・キャリア教育、読書活動、外国語活動等を通じて、興味関心をもって学び続ける力も身に付けてきている。

今後、自ら学ぶ力を発揮した家庭学習を充実させることや言語活動をより充実させることに取り組むとともに、体験したことを表現し伝え合い、考察する活動を推進し、読解力等の生きてはたらく力を培っていきたい。将来は、ふるさとの恵まれた環境を生かして物事に積極的に取り組み、文化を新しく創造していく子ども、人と豊かにコミュニケーションできる子ども等、心身共にたくましい子どもの育成を図っていきたい。

2 科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育の推進

各校では豊かな自然や先人の業績に「触れ、学び、活かす」という機会を持ちながら多様な学習活動を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を目指してきた。市では、科学フェスティバル、理科支援員等派遣事業やホット・ヒート科学の心推進事業等、地域の人材や高校、大学などの教育機関、企業等との連携を通して人的支援を図り、ものづくりの伝統を発展的に構築しながら、知的好奇心を喚起し探究的な活動を行うことができるようにしてきている。さらに今年度は、体験型理数教育を取り入れた授業力向上の推進を図り、学校を取り巻く学びの支援ネットワークを整備し、多様な学習活動の充実を目指している。

さらに、全国調査等各種アンケートの分析・検証と、日々の授業研究とをリンクさせた授業改善の取り組みにより、子どもたちの学びの質も確実に向上してきている。

このことは、課題を求め追究する姿勢を高め、英語や漢字等の各種検定への参加者の増加、思考コンテストへの挑戦、日本学生科学賞の連続受賞など、自らに問い続け、目標を立てて学び・成長し続ける子どもや学校の増加に表れている。

今後、自分の能力を最大限に発揮して自己実現を図る学びを「挑戦する学び」として、さらに教育支援ネットワークの活用を図りながら継続して推進し、個性豊かで主体的に学習に取り組む子どもを一層育てていきたい。

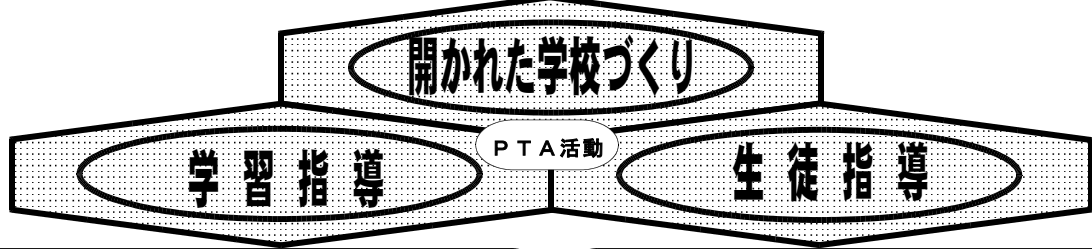
また、人との「コミュニケーション」のあり方や自分をかけがえのない存在とする「自尊感情」のもたせ方、「自己表現」の仕方などを基盤にして、学習指導要領の趣旨を生かし、科学的な見方や考え方ができる児童生徒の育成、確かな学力を身に付け、自信をもって表現できる児童生徒の育成を図っていきたい。

3 由利本荘市の人間性豊かな子ども像

- 自然や地域文化を愛し、他人を思いやり奉仕する、心豊かな子ども
- いのちの尊厳や万物共生の精神を理解し、たくましく生きる子ども
- 目標をもち、自信と誇りをもって科学的に探究しながら、学び続ける子ども

4 学校教育の重点施策

- ◇ 学校・家庭・地域連携の推進
 - ① コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進
 - ② ふるさと教育の推進と学校支援地域本部事業の充実
- ◇ 学校開放及び学校評価等の活用による「地域の学校づくり」
 - ① 目指す学校像実現のための学校活性化アンケート等の実施
 - ② 「あきた型学校評価」の活用による経営の改善（ふるさと教育・キャリア教育）
 - ③ 地域の教育力を活用した学校運営（学校関係者評価委員・学校評議員）
- ◇ 芸術・文化活動の推進
 - ① 芸術・音楽活動の充実
 - ② 伝統文化・芸能活動の継承と発展



- ◇ 体験型科学教育の推進
 - ・リアルサイエンス事業
- ◇ 「ホットヒート！科学の心」事業
 - ・OB教員や大学教員、地域人材の活用
 - ・科学フェスティバルの開催
 - ・中学生アカデミー、中学生会議の開催
- ◇ トライアングルプランの推進（学校、公立図書館、市教育研究所）
 - ・学校図書館の活用
 - ・総合的な時間等の充実
- ◇ 学力対策委員会による学力向上の推進
 - ・全国調査等の採点及び結果分析・検証
- ◇ 地域ブロックでの特色ある取組の推進
 - ・授業実践研究会（広域3ブロック）
 - ・高校・大学との連携強化

- ◇ 教育相談窓口の設置
 - ・各種教育相談（保護者等）
- ◇ 学校安全ボランティア
 - ・地域見守り、子ども110番の家の指定
- ◇ 本荘ふれあい教室
 - ・不登校児童生徒の相談と指導
- ◇ 不登校・いじめ問題等連絡協議会
- ◇ スクールソーシャルワーカーの活用
- ◇ 緊急連絡メールの活用
- ◇ 放課後子ども教室
 - ・市内17小学校に設置

[主な学校教育関係等行事予定]

4月	・春季教職員研修会 ◇ 全国学力・学習状況調査（4/24）	8月	・夏季教職員研修会 ※リアルサイエンス ・中学生会議 ・情報教育研修会	12月	◇ 県学習状況調査（12/4・5） ・PTA連合会との連携
5月	・学力対策委員会 ・全国調査採点・分析委員会 ・教育委員学校訪問（～11月） ・学力向上訪問（～2月） ・人事評価校長面接	9月	○ 児童生徒理科研究発表会 ○ 本荘由利英語暗唱弁論大会	1月	・冬季教職員研修会 ・中学生アカデミー ・中学生会議
6月	・公開授業&講演 秋山仁氏 ※リアルサイエンス事業	10月	・公開授業&研修会 ※リアルサイエンス ・市幼保小連携研修会 ○ 中学校少年非行防止・防火弁論大会 ○ 親子読書感想文発表会 ○ ひがしゆり音楽祭	2月	・定数内示（学級編制決定）
7月	・市初期層研修会 ・市生徒指導研修会	11月	・科学フェスティバル ・市就学指導委員会 ○ 高橋宏幸賞感想文・感想画 全国コンクール（表彰）	3月	○ 小島彼誰子ども俳句 コンクール（表彰）

・「遠藤章氏」、「国立天文台名誉教授 石黒正人氏」、「名古屋大学大学院准教授 伊藤孝寛氏」の方々にご学友会・他市との連携（佐伯市、箕面市、三鷹市、いわき市）

(1) 確かな学力の形成

本市の学力の現状は、全国調査や県学習状況調査によると、小学校の平均正答率は県の平均と同程度、中学校の平均正答率は県の平均を上回るなど、本市の児童生徒の学力の状況は概ね良好なものとなっている。しかしながら、活用に関する問題は、平均正答率の改善が必要な状況である。一人一人の個性や特性を十分把握し、基礎的な確実な定着と語り続け、思考力、判断力、表現力を高め、自信をもち、粘り強く学び続ける子どもを育てたい。

◆ 授業改善プログラムの推進（ホットヒート！科学の心推進事業）
 ◆ プロック別授業実践研究会の開催

（小学校：東フ[尾崎小] 11月21日、南フ[矢島・島海小] 10月31日、北フ[岩谷・上川大内小] 11月22日）
 （中学校：東フ[本荘東中] 10月18日、南フ[矢島・島海中] 10月31日、北フ[本荘北中] 11月12日）

◆ 授業力向上訪問・算数・数学・理科の実施
 ◆ 学力対策委員会等による指導力向上研修会の実施

重点事項	達成目標
① 基礎・基本の定着及び問いのある学習指導 ・学習のねらいを明確にした指導 ・言語活動の充実とおした授業改善 ② 個性に応じた指導・支援 ・学力上位層への支援 ・目的に応じた多様な学習形態等による指導の工夫 ③ 図書館の活用 ・授業における学校図書館の活用の拡大 ・学校図書館と公立図書館との連携	<input type="checkbox"/> 全国や県の調査で、各教科とも県平均を上回る。 <input type="checkbox"/> 各学校における「学習に関するアンケート（児童生徒、教師）」において、昨年の結果を上回る。 <input type="checkbox"/> 各教科・学級等で図書館を活用した授業を複数回実施する。

- 特色ある具体的な取り組み
- ・教育専門監の配置（算数・数学、理科）
- ・中学生アカデミーの実施（個性ある学びの伸張）
- ・トライアングルプランの拡充（学校図書館と公立図書館の連携）
- ・科学フェスティバルの実施

(2) 豊かな心と感性の醸成

学習指導要領の実施に伴い、道徳の時間は、各教科をはじめとする全領域との関連を図りながら、計画的、発展的な指導の充実が図られてきている。今後、ふるさと教育をさらに充実を通して、地域の良さや地域の一員としての再認識を深める教育活動を展開していく。

◆ ふるさと教育・キャリア教育の充実
 ◆ 道徳教育の各教科等の指導計画への位置付け
 ◆ 読書活動の充実（朝の読書活動、読み聞かせ活動等）
 ◆ ボランティア活動の推進

重点事項	達成目標
① 自己実現を目指すキャリア教育 ・子ども一人一人の社会的自立を踏まえた生き方指導の充実 ・学ぶことや働くことの意義を実感できる指導の充実 ② 自校の実態を踏まえた道徳教育 ・教育活動相互の関連を明確にした道徳教育の実践 ・豊かな体験等を通じた道徳教育の充実	<input type="checkbox"/> 教育活動全体を通じて、職場体験等の体験活動の充実を図る。 <input type="checkbox"/> 各校の道徳教育の指導方針や重点とする価値項目等を明確にした指導展開の具現化を図る。

- 特色ある具体的な取り組み
- ・中学生会議
- ・芸術鑑賞教室
- ・劇団四季ミュージカル鑑賞
- ・5日間の職場体験学習を核としたキャリア教育

(3) 情報活用能力、コミュニケーション能力の育成

子どもたちの情報の利活用に関する指導を、図書館やコンピュートルーム等の施設活用を図りながら推進する。また、関係機関と連携して、情報化社会に必須な情報モラル教育を徹底する。

◆ C A T Vの教育的利活用（教育番組等の編成及び活用）
 ◆ 情報モラル教育の推進（警察署や携帯電話会社等の外部機関との連携）

重 点 事 項	達 成 目 標
① 情報機器等の効果的な活用 ・情報モラル教育の充実 ・教科等における電子黒板の活用	□各教科・領域等において，情報の適切な活用能力と共に，主体性や創造性を高める指導の充実を図る。

- 特色ある具体的な取り組み
 - ・学習情報センターづくり支援事業（学校図書支援員配置）
 - ・学校運営支援員配置事業（情報学習支援員 全小中学校）

(4) 健康でたくましい心と体の育成

平成24年度の全国調査によると，本市の子どもたちの体格や運動能力は全国平均を上回っている。しかし，内容によっては県平均より下回る種目等もあり，特に，柔軟性や走力等については引き続き継続的な指導を行い，改善を図っていきたい。

不登校児童生徒数は，各学校でのきめ細やかな指導や支援の充実から徐々に減少してきているが，不登校に陥る理由が多岐にわたり複雑化してきていることから，一層関係諸機関との連携等を強化し解消を図っていく。

◇ 校内相談活動の充実，食の指導の充実
◇ 基礎体力向上への取り組み（体育学習の活性化，朝・業間活動の奨励）

重 点 事 項	達 成 目 標
① 児童生徒の体力及び運動能力の向上 ・体力づくりのための創意工夫ある実践 ※ チャレンジデー（5/29）への参加 ・運動能力向上のための指導方法の工夫改善	□新体力テスト等で低調な項目の向上を図る。 ★ 小学校：シャトルラン ★ 中学校：シャトルラン，50m走
② 自己肯定感を育む ・生徒指導の3機能を生かした指導の充実 ・道徳教育やキャリア教育との連携による指導の充実	□自治的・自発的な児童の活動や積極的な生徒指導等の充実を図る。
③ 不登校の未然防止 ・児童生徒についての情報共有と小・中教員の相互理解による指導の充実 ・保護者との連携やスクールカウンセラー等との連携による指導の充実	□不登校児童生徒の出現予防と減少を図る。

- 特色ある具体的な取り組み
 - ・心の教室相談員配置事業（岩城中）
 - ・適応指導教室の設置（本荘ふれあい教室）
 - ・スクールカウンセラー配置事業
（本荘北中，本荘南中，本荘東中，矢島中，由利中，鳥海中，東由利中，大内中，出羽中）

(5) 多様な児童生徒理解と支援の充実

特別支援教育については，県教育委員会，ゆり養護学校との連携を重視し，個別の指導計画等の作成を通して子どもたちへの支援を充実させてきている。今後，幼保・小・中学校間での相談活動等，適切な支援を受けることができるような体制の整備を図っていく。

重 点 事 項	達 成 目 標
① 児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な支援 ・個別の指導計画と教育支援計画の作成 ・関係機関との連携及び地域ぐるみの支援体制の充実	□一人一人の教育的ニーズを把握し，個に応じた指導の充実を図る。

- 特色ある具体的な取り組み
 - ・特別支援教育地域支援センター（鶴舞小），相談ルーム（岩谷小）
 - ・学校生活サポート事業（特別支援教育支援…21校，日本語支援…3校）
 - ・学校運営支援員配置事業（特別支援学級支援員 4校）

<その他の教育活動事業等>

- ・コミュニティ・スクールの充実・改善に関する実践研究（矢島小）…[文科省委託]
- ・英語力を強化する指導改善の取組（本荘南中 *協力校：本荘高，本荘北中，本荘東中，鶴舞小，尾崎小）…[文科省委託]
- ・小・中連携いきいきスクール事業（石沢小，本荘東中）…[県委託]
- ・小学校専科指導加配配置事業（下川大内小）…[県委託]
- ・学校支援地域本部事業「ボランティア活用」（出羽中，岩谷小，下川大内小，矢島小，鳥海小，子吉小）…[県委託]
- ・体験型理数教育を取り入れた授業力向上事業（リアルサイエンス）